

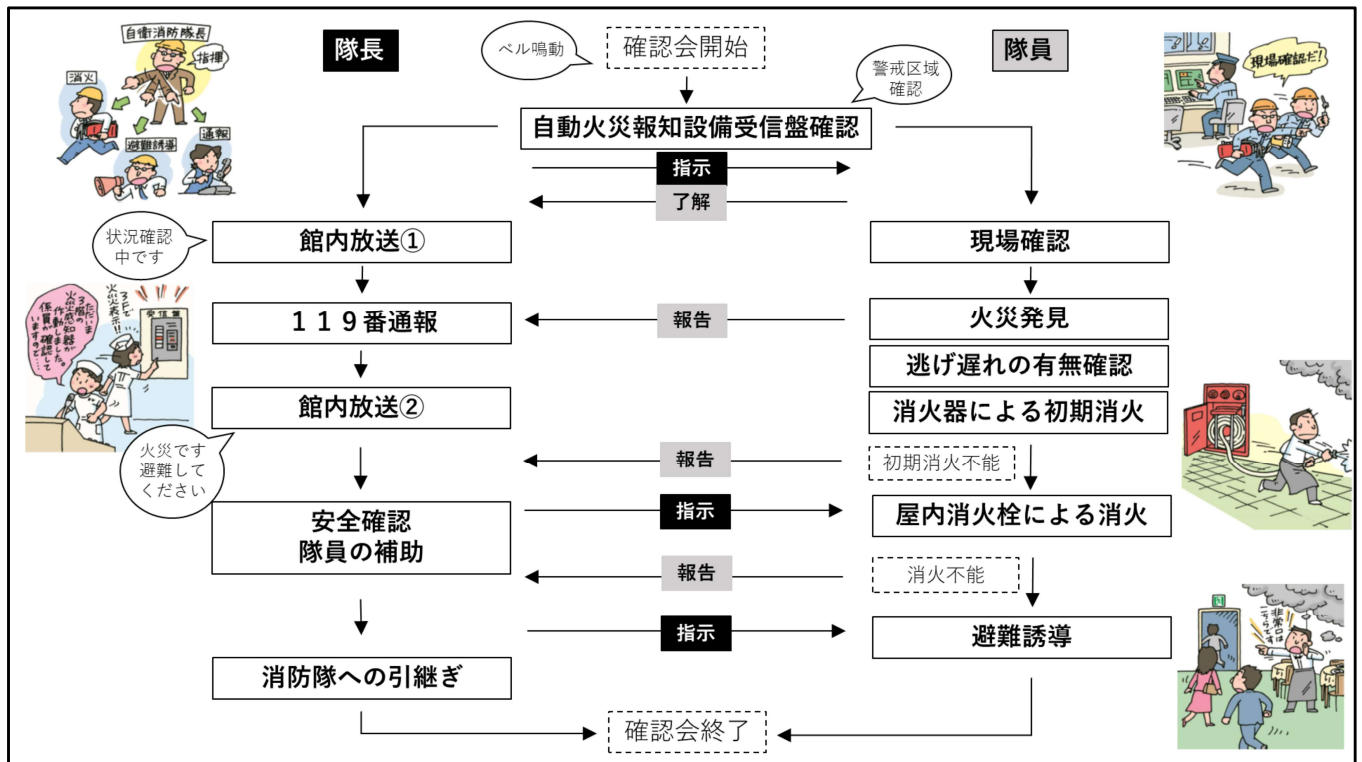
令和8年度自衛消防確認会 実施要領



北多摩西部消防署 予防課防火査察係

自衛消防確認会の実施要領についての説明資料です。

自衛消防確認会前の訓練において、こちらの資料をご活用ください。



【確認会の流れのイメージ】

自動火災報知設備のベルが鳴って、確認会が開始されます。

まず受信盤の警戒区域を確認し、状況確認のため現場に向かいます。
また、それと並行して状況確認中であることを館内に放送します。

火災を確認したら、消火器による初期消火、119番通報、避難を呼びかける館内放送を実施します。

その後、消火器による消火ができなかったという想定で、屋内消火栓を活用した消火に移行し、避難誘導、消防隊への引継ぎを行い、確認会終了となります。

確認会実施イメージ

ベル（アラーム）が鳴り、確認会開始です



隊長（指揮者）
「ベル鳴動、
受信盤確認！」

隊員（1番員）
「ベル鳴動
受信盤確認！」



【隊長、隊員の活動要領について】

自動火災報知設備のベルが鳴り、確認会開始となります。
隊長と隊員で**受信盤を確認**します。

こちらの資料の吹き出しの赤字は隊長、青字は隊員の言葉です。
イメージしやすいようにセリフを書いています。セリフにとらわれず、実際に火災が発生した時の動きを確認することに重点を置いてください。



【隊長・隊員の動き】

受信盤で発報した警戒区域を確認します。

隊長は、隊員に対して資器材の携行、現場の確認を指示します。
隊員は、隊長の指示のもと、現場に向かう準備をします。

隊長 は館内放送 **隊員** は現場を確認



【隊長・隊員の動き】

隊長は、**館内放送の準備**をします。

隊員は、隊長に指示された資器材を携行し、**現場確認**に向かいます。

隊長 館内放送①

こちらは防災センターです。
ただいま〇階の〇の感知器が
作動しました。
係員が現場を確認中です。
次の放送に注意してください。



ポイント！

- ① 落ち着いて わかりやすく
- ② 2回繰り返す

放送設備がない場合は、事業所の形態に応じて館内の人に周知してください。

【隊長の動き】

ベルが鳴り続けている状態なので、隊長は**館内放送で状況確認中である旨を館内にいる人たちに知らせます。**

この時のポイントとしては、

- ・ **落ち着いてわかりやすく**伝えること
- ・ 聞き逃しのないように、放送は**2回繰り返す**ことです。

放送設備がない場合は、隊長と隊員の2名で現場確認に向かい、火災を確認したら、隊長は119番通報するとともに館内にいる方々に伝えます。

隊長は、その後現場の支援に向かってください。

隊員 火災現場

ドアが熱いかどうか触って確かめる



ポイント！

ドアは 下から 触る

室内が燃えている場合
ドアは上部におかうほど熱い

ドアを開けるとき



ポイント！

ドアを盾にしながら 開放する

室内が燃えている場合
火炎が噴出してることがある

【隊員の動き】

現場に到着したら、**ドアが熱いかどうか触って確かめます。**

この時のポイントは、ドアは**下の方から触る**ことです。

室内が燃えているときは、ドアの上部ほど熱くなります。

自分がけがをしないために、ドアは下の方から触るように注意してください。

また、ドアを開けるときは、ドアを盾にしながら少しずつ開放します。

室内が燃えている場合、火炎が噴出してくることがありますので、ドアを盾にして内部の状況を確認しながら慎重に開放してください。

隊員 火災発見

ドアを閉鎖して
無線で隊長に報告

〇階〇〇室
延焼中です！

隊長に報告後
周囲に大きな声で
知らせる

火事だー！
火事だー！！

ポイント！

- ① 隊長に火災発生を所定の方法で報告（無線・電話・直接）
- ② 火災発生を周囲に大きな声で伝える

【隊員の動き】

ドアを開けて室内が燃えていることを確認したら、火災が拡大することを防ぐために一度ドアを閉めてから、**隊長へ報告し、周囲に大きな声で知らせます。**

隊長への報告は、状況に応じて、無線、電話、直接伝えるなど、**早く確実に伝える方法を選択**します。

また、周囲にも火災が発生した旨を大きな声で知らせてください。

隊員 消火器による初期消火

退路よし！

ピンよし
ノズルよし
消火！



誰かいませんか！
避難してください！！

ポイント！

- ① 退路（逃げ道）を確保する
- ② 消火器の適正な取扱い
- ③ 出火場所に逃げ遅れがないか確認
- ④ ドアの開放は消火できる必要最小限

【隊員の動き】

次に、携行した消火器により初期消火を行います。

まず、急激に火煙が噴出してきた場合などに退避できるよう、退路、逃げ道（誘導灯の位置や避難経路を確認するなど）を確保してください。

ドアを開けるときの、内部確認の時と同様、ドアを盾にして内部の状況を確認しながら慎重に開放してください。

火災が拡大することを防止する事と身の安全のために、消火の際にドアを開ける幅は必要最小限とし、ドアや壁等に身を寄せて消火を実施します。

消火器の使い方は、出火場所入口まで消火器を持っていき

- ① ピンを外す
- ② ノズルを伸ばす
- ③ レバーを握る

の順番です。燃えているものに向かって、手前から掃くように噴射します。

出火場所からあまり離れたところでピンを外すと、誤ってレバーを握って出火場所に到達するまでに内容液が噴射されてしまいますので、必ず**近づいてからピンを外す**ようにしてください。

また、**出火場所に逃げ遅れがないか確認**します。

隊長 119番通報



何が燃えていますか？

わかりました。
消防車
向かいます。

ポイント！

- ① 落ち着いて確実に通報
- ② 住所、出火箇所を正確に伝える

固定電話がない場合は携帯電話で通報してください

【隊長の動き】

隊長は、隊員から火災発生の報告を受けたら、119番通報をします。

落ち着いて、確実に通報することを心掛けてください。

119番通報すると、係員が「消防庁、火事ですか？救急ですか？」と聞きますので、まず「**火事です。**」と伝えてください。

その後、消防車が向かう住所、何が燃えているのかなど、係員が順番に聞きますので、**事業所の住所や燃えているもの、現在の状況を正確に伝えてください。**

隊長 館内放送②

こちらは防災センターです。
〇階の〇〇室で火災が発生しました。
〇〇に避難してください。
エレベーターは使用しないでください。
こちらは、防災センターです・・・

放送後、隊長は現場の支援に向かってください。



ポイント！

- ① 落ち着いて わかりやすく
- ② 2回繰り返す

【隊長の動き】

隊長は、通報を終えたら、**館内にいる人たちに避難を呼びかける放送**を実施します。

この時も、1回目の放送と同様、「**落ち着いて わかりやすく**」を意識していただき、
聞き逃しのないように**2回繰り返す**てください。

館内放送を終えた後、隊長は現場の支援に向かいます。

隊員 消火器による消火不能を報告



【隊員の動き】

消火器による消火が不能であった旨を、**隊長に報告**します。
隊長は屋内消火栓による消火を指示し、**隊員は操作を開始**します。

1号消火栓の場合

屋内消火栓による消火

起動ボタンよし
ドア開放



ドア開放よし
ホース取り出し



隊長 は、周囲の安全確認と隊員の活動状況を把握してください

隊員 は、動きに合わせて自分の活動を声に出せるととても良いと思います

ネットで自衛消防訓練



各部の名称



使い方

【1号消火栓の操作方法】

1号消火栓は、2名で操作します。

隊員は、**起動ボタンを押した後**、消火栓のドアを開放し、**ホースを取り出し**て、延長しやすいようにホースを整理します。

この時、**自分の活動に合わせて声を出す**と、今何をやっているかが隊長にも伝わり、安全確認上とても有効です。

隊長は、周囲の安全確認と、隊員の活動状況を把握してください。

1号消火栓の場合

ホース延長

隊員 はホース延長前、
隊長に「確保」を依頼する



ホース延長
ホース確保！

隊長 は
隊員の「ホース確保」を聞いたら

(ホースを腰に回し)
ホース確保よし！



隊長 は前足で踏ん張り
しっかりとホースを確保し
「ホース確保よし」と答える

隊員は、ホース延長の準備ができたなら、隊長に「**確保**」を依頼します。

隊長は、ホースを腰に回し、確保した旨を隊員に伝えます。
この時、延びていくホースと同じ側の足を前に出し、**しっかりと踏ん張って確保**します。

隊員は、**隊長の確保が確認できてから、ホース延長を開始**します。

1号消火栓の場合

隊員 放水はじめの報告

ホースラインよし

(無線または肉声で)
到着！放水はじめ！

ポイント！

伸ばしたホースに折れ曲がった箇所がないか確認する！

了解
放水はじめ！
バルブ開放
開放よし

隊長 は報告を受けたらバルブを開く

隊員は、ホースを延長し現場に到着したら、延長したホースが折れたりせずに伸ばせているかホースラインを確認し、無線又は肉声で隊長に「到着、放水はじめ」を報告します。
※ホースが折れたりしている場合は、適正な放水量を放水できません。
特に狭い通路や曲がり角は注意が必要です。
ホースの折れを確認した場合は、真っ直ぐになるよう確認しましょう。
隊長は、隊員からの報告を受けたら、バルブを開き放水を開始します。

2号消火栓の場合

ホース延長

ネットで自衛消防訓練



各部の名称



使い方

ドア開放よし
ホース取り出しよし
バルブ開放よし

隊員 が一人で操作します



隊長 は 隊員 がホースを伸ばす周囲、伸ばす先の安全確認をしてください

【2号消火栓の操作方法】

2号消火栓は、隊員が一人で操作します。

ドアを開放し、**ホースを取り出します。**

2号消火栓は、起動ボタンがなく、ホースを取り出すことでポンプが起動します。

ノズルを取り出す際に、目の前で操作すると顔面に当たる可能性があります。
ノズル取り出しの操作は、しゃがまずに立った姿勢で行いましょう。

バルブを開放した後、ホースを延長します。

この時、隊長は、周囲の安全確認と、隊員の活動状況を把握してください。



【隊員の動き】（1号消火栓、2号消火栓 共通）

ホース延長し、現場に到着して放水する準備が整ったら、先ほど消火器による初期消火を実施した時と同様、ドアの熱を確認してから**慎重にドアを開放**します。

放水できる必要最小限だけドアを開けたら、**ドアや壁等に身を寄せてノズルを開放して放水を開始**します。
また、消火しながら、**室内に人がいないか再確認し、避難を呼びかけてください。**

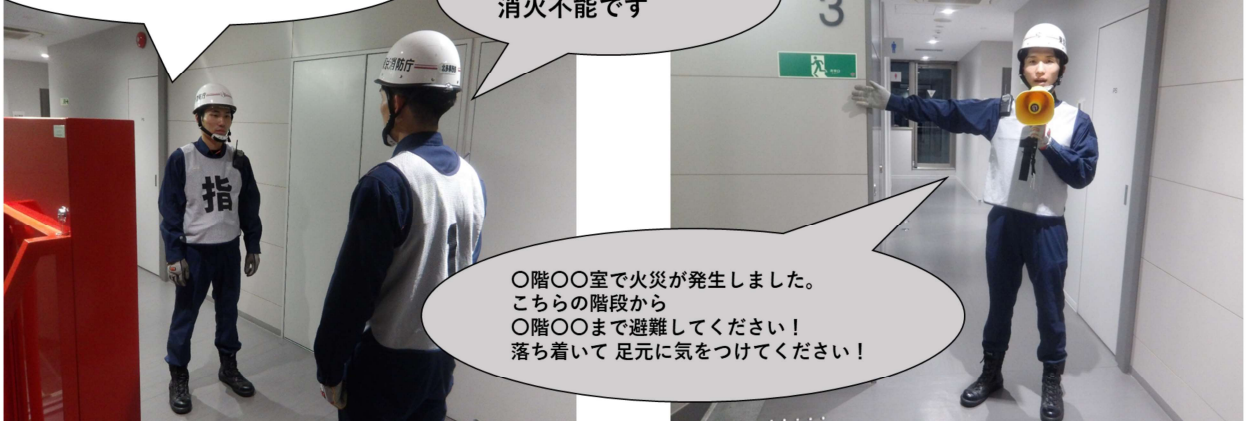
確認会では一定時間経過したら、係員から「消火不能」の合図をしますので、放水をやめて、**延焼拡大防止のためにドアを閉めてください。**

隊員 消火不能を報告

隊長 避難誘導の指示

了解
避難誘導を実施してください

屋内消火栓による
消火不能です



〇階〇〇室で火災が発生しました。
こちらの階段から
〇階〇〇まで避難してください！
落ち着いて 足元に気をつけてください！

【隊長・隊員の動き】

隊員は隊長のもとに戻り、屋内消火栓による消火不能であった旨を報告します。

隊長はそれを受けて、**避難誘導へ移行するよう隊員に指示**します。

隊員は、トランジスタメガホン等を活用して、館内にいる人の**避難誘導**を行います。

隊長 消防隊へ状況を報告

〇階の〇〇室が火事です。
初期消火を試みましたが消火不能。
現在も延焼中です。
避難状況は〇〇〇〇です。
けが人はいません。

ポイント！

- ・ 出火場所、燃えているもの
- ・ 初期消火の状況
- ・ 避難の状況（逃げ遅れの有無）
- ・ けが人の有無



了解しました！
消防隊引き継ぎます！

【隊長の動き】

そのあと、消防隊が到着しますので、隊長は**消防隊へ状況報告・引継ぎ**を行います。

このとき

- ・ 出火場所、燃えているもの
- ・ 初期消火の状況
- ・ 避難の状況（逃げ遅れの有無）
- ・ けが人の有無

などを報告してください。

消防隊に引継ぎが完了したら、確認会終了となります。

確認会後のミーティング

事業所の方
初期消火をするときは、
どのような姿勢がいい
のでしょうか？

消防署員
落ち着いて通報がで
きていて、とてもよ
かったです。

消防署員
火炎は上に向かう性質
があるので、なるべく
姿勢を低くして消火し
てください。

【確認会後のミーティング】

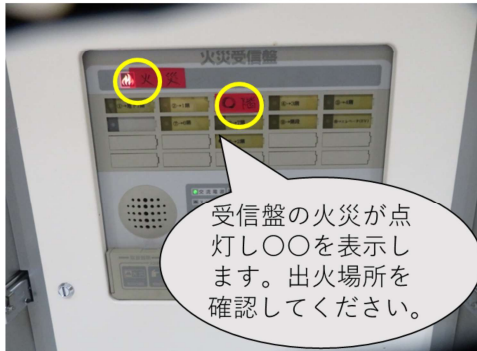
確認会終了後、事業所ごとにミーティングを行い、推奨検討事項をお伝えします。

確認会中に疑問を持った点や、普段気になっていたことなど、お気軽にご質問ください。

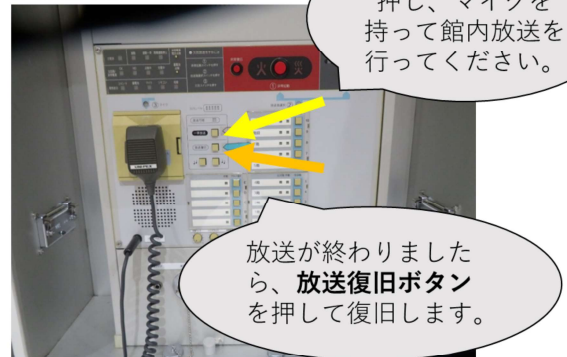
自衛消防確認会当日は、メモや筆記用具をご持参ください。

消防用設備

自動火災報知設備受信盤



放送設備



資器材



トランシーバー



携帯電話



トランジスタメガホン

【確認会で使用する消防用設備】

■自動火災報知設備の受信盤

「火災」の部分が点灯し、発報している区域を表示しますので、**出火場所を確認**してください。

■放送設備

機械中央付近にある「**一斉放送ボタン**」を押して、マイクを持って話してください。

放送後、「**放送復旧ボタン**」を押して、復旧します。

【確認会で使用する資器材】

■トランシーバー・携帯電話

火災を発見し状況を報告していただく際に隊長と隊員の連絡手段として使用いたします。

各事業所様の実情に応じて、どちらでもお使いいただけるようこちらで準備いたします。

■トランジスタメガホン

避難誘導や、隊長から隊員に指示する際などに使用します。

自衛消防確認会当日、開始前に取扱い方法を確認する時間を設けます。

共通事項

- ・ 隊長・隊員の **2名** で実施します。
- ・ 服装は活動に支障のないものとし、こまめに **水分補給** をおこなって、**熱中症予防** を考慮してください。
- ・ **準備運動** を十分おこなって、けがの予防に努めてください。
- ・ **運動靴**（作業靴等）と **手袋**（作業用）を用意してください。
- ・ 自衛消防隊の装備がある場合は持参し、確認会に活用してください。
（ヘルメット、マスターキー、ライト、無線機、メガホン、携帯電話等）
- ・ **タイム測定はありません**。安全で確実な活動を心掛けてください。
（指示、履行、報告、操作、確認、状況把握）
- ・ 台詞や言葉に制約はありません。**話し言葉で大丈夫**です。
実災害発生時の自衛消防隊になったつもりで活動して下さい。
- ・ 事業所ごとに確認会終了後にミーティングを行い、推奨検討事項をお伝えします。

・ 自衛消防確認会は実際に火災が発生した際に活動ができるよう、活動の手順を確認していただくことを目的としています。
セリフにとらわれることなく、動きを確認することに重点を置いていただければと思います。

- ・ 確認会終了後の事業所ごとにミーティングでは、確認会の推奨検討事項のほか、普段から疑問に思っている点などをご相談いただけます。
ご不明な点などありましたら、この場でぜひ確認してください。
自衛消防確認会当日は、メモや筆記用具をご持参ください。